



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

皆さま、明けましておめでとうございます。一昨年は英ブレグジットに米大統領選のトランプ氏勝利など、市場予想を覆す大きなサプライズが発生して、その行方を占う2017年でしたが、政治的には欧米ともに不確実で不安定な要素をいくつも顕在化させつつも、実体経済は米国が年間を通じて経済成長速度を再び加速させて、世界経済のけん引役を果たし、欧州は景気サイクルが底入れして財政再建に苦しんで来た南欧も含め、全域で成長基調を回復させました。

そしてもうひとつの先進地域の極である日本経済も、アベノミクス政策の継続がいざなぎ景気越えとなる5年超にわたる息の長い景気回復を持続させ、先進地域全般の成長トレンドが新興国経済への需要喚起へと好循環を生み出す、リーマンショック前以来久々に世界経済全体が揃って成長を呼応し合う、地球一体成長の実現する年となりました。

そうした環境下で、年後半の金融市場はグローバルに楽観が支配して、結果的には世界30か国以上の株価指数が最高値を更新。2017年の世界株式時価総額は、世界的低金利の恩恵も追い風となって年間で21%拡大して、世界同時好況をマーケットは過熱感なく受容したと言えましょうか。そしてこの好環境を「セゾン号」両ファンド共に素直に反映して、設定来高値水準で新年を迎えたわけでありませぬ。

実体経済は2018年もG20諸国のほぼ全てで成長率がプラスとなり好況が続くと見られますが、昨年は大幅な株高を債券高も支える側に回るイレギュラーな市場動向でもあり、先進各国の金融政策如何で金利の反転、そして新興国からの資金流出といった楽観相場の反転リスクも相応に育っていると想定する警戒心が常に必要となる、新たな年でもあります。

昨年もセゾン投信は年間を通じて基本的運用指針を堅持して来ました。このスタンスは不確実性の認識を高めるべき2018年も変わりませぬ。あくまで拠り所は長期的な地球経済全体の成長軌道にあり、それは一層安定感を増していると感じています。

「セゾン号」は今年もその大河の流れをしっかり捉えて、目先の相場の変化にはこだわらず、いそがないで進んで参ります。どうぞ2018年も「セゾン号」の旅を引き続き御一緒くださいますよう、宜しくお願いいたします。

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりませぬ。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 12月の市場動向

**株式：**【米国で税制改革法案が成立したものの、金融緩和縮小への警戒が高まったことを背景に限定的な上昇】

途中まで政治的な不透明感が広がって軟調に推移し、中盤以降は米国で大幅な減税を含む税制改革法案が成立する見通しとなって先行きへの明るい見方が広がって上昇したものの、同時に物価上昇観測や金融緩和縮小への警戒が高まったことから、上昇は限定的でした。

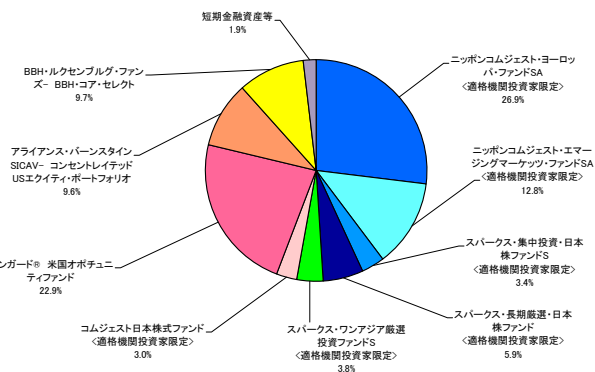
**為替：**【ドルが軟調に推移しユーロが堅調。円は軟調な展開となり、対ユーロで円安、対ドルで小幅な円安】

金融緩和縮小への警戒が高まったことを背景にユーロが堅調な展開となり、米国では景気の先行きに対する明るい見方が広がったものの、金融緩和の長期化観測が維持され、ドルは軟調な展開となりました。円は海外との金利差が拡大したことを背景に軟調な展開となりました。

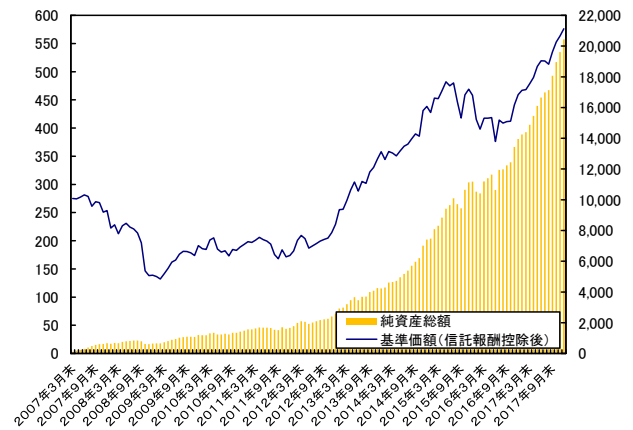
基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年12月29日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
21,127円	557.3億円	+111.27%	+2.27%	+10.92%	+25.51%

資産配分状況（2017年12月29日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 12月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジストヨーロッパファンド、コムジストエマージングマーケットファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、BBH コア・セレクト・ファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から上昇し、月末時点で1.9%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

12月は米国の税制改革法案の行方が株式市場の動きに大きな影響を与えましたが、市場の関心を集める出来事は、多くの人がその影響を見極めようとしながら行動するので、このような出来事に注目して、他の参加者を上回る結果を出し続けることは困難です。

一方で、短期的に成果を求める傾向が強い現在の状況においては、個別企業の長期で見た本質的価値は、相対的に少数の人しか関心を持たれておらず、企業価値の評価における確かな知見を備えた専門家が時間をかけて調査を行うことにより、より魅力的な投資機会を見つけることが出来ると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### ◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

### ◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

### ◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

#### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

#### その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）